

国際ニュース&レポート

M I F F の変貌と方向

③

ニトリに学んだ工場管理と品質

日本市場進出は世界への道

梁志傑会長のインタビュを続ける。先の号で生産地モアの概況に触れた。

「家具は手加工の部分

が強いが、こうした形態は今後も続ける。技能の保持と向上が大事だ。現材料についてはやはりラバーウッドが主流に変わりはなく」

「中国、ベトナムと比較して、マレーシアは英国領の過去から英語がで

る。40代の経営者が多いのも一因だ。それだけ今後の成長性が期待できる」

「モアの製品はダイニングセット、ベッドルー

ム、ソファが主。もう15年以上になるがニトリの似鳥昭雄社長が自らマレーシアにきた。港から遠く樹木の取れる山もない

ところだ。家具生産に関わる人達の意志と協力の

業との努力で品質も安心でき、価格も安い製品を出荷してきた。結果、15年前より多くの日本企業と、取り引きを行うようになった」

「日本式の生産管理で

求められる品質を保つようになり、日本市場をクリアして世界に通じるようになった」

「SWS社は私が2代目になる。先代の後を継いで18年になる。創業自



梁志傑会長



SWS社のソファ

た。当社も例外なく内需からスタートし、輸出企業へと成長してきた。ソファはもともと生産していたが、ダイニングセットも手がけ、ニトリなどのOEMで工場を整備、工程管理を徹底して品質を向上させた」

「最盛期は1ヵ月に1000コンテナを出荷したが、現在は平均30コンテナほど。15年前40人だった従業員は現在500人になった。古い取引先ではニトリの他、東京インテリア家具、不二貿易が

10年以上の実績を持つ。当社の経営面でもまず日本から学んだのはチームワークだ。そして優秀な個々のスタッフが強みだ。私自身、会社を見るうえで従業員個々を把握する。そして聞く耳を持つように心がけている」

(続く 長島)